

# 5・7・5に乗せて



## 竹の子川柳会

ちいさいなはながかわいいあからちゃんだ  
 小一 優  
 かわいいねのいちごみのもりのなか  
 小一 隆希  
 ちいさいこおせわがいるよいそがしい  
 小一 心香  
 赤ぼうしかぶってダンスおどったよ  
 小二 みるく  
 友達に小さい声でありがとう  
 小三 心春  
 カマキリの小さな子ども育てたい  
 小三 太清  
 自主勉で努力が実り成果出る  
 小四 翔太  
 閑静な部屋は心のなごみの場  
 小四 清也  
 いろいろと努力してこそ意味がある  
 中二 海士  
 紅葉に負けずみんなの笑顔咲く  
 中二 海斗  
 赤ペンで直して次は百点に  
 中三 ななみ  
 生きてるといろいろ悩み出してくるな  
 高二 瑠依  
 大小の部屋を彩るぬいぐるみ  
 高二 ちひろ  
 練習の努力が実る新人戦  
 高三 沙耶

## ひよし川柳会

夢を生む心をこめた道の駅  
 熊本 忠真  
 心ない言葉先ずは相手を思いやる  
 木村 貞子  
 老母には心底何時も見透され  
 山本 雅之  
 紅葉の道夜更けて通る人の声  
 水野すみこ  
 月明かり二人で歩くまわり道  
 川添 忠昭  
 明け方にチップ数える夜の蝶  
 渡辺 光男  
 とつぷりと暮れる仕事も早仕舞い  
 山本 節  
 寄り添ってぐっすり眠る安堵感  
 米子 達雄  
 いい講話も長過ぎちよつと眠くなり  
 中城 英雄  
 衝動で買った洋服眠ってる  
 兵頭チヨカ  
 七転八起二代目は知らず  
 大崎 五葉  
 一番が転んでびりにならず済み  
 若宮 賢敬  
 転ぶままだ人生は序の口だ  
 宇都宮 忍  
 寝転んで星と対話をしたい秋  
 宮川 柳酔

**鬼王丸のほのぼの日記**  
 1月号の「鬼王丸のほのぼの日記」は、都合によりお休みにいたします。誠に申し訳ございません。来月号をぜひお楽しみください。

**宮城県白石市へ  
ご寄附のお礼**

この度の台風19号で被災した宮城県白石市への支援金につきまして、多くの皆さまから多大なるご支援をたまり、誠にありがとうございました。つきましては、新年早々に白石市を訪問し、皆さまからの志をお届けする予定です。今後とも白石市と鬼北町の交流に一層のご協力をたまりますようお願い申し上げます。

総務財政課  
 行政係 内線 2205

## 鬼北の足跡をたどる



**鬼の子孫、常喜(浄鬼)・常満(浄満)**

今年度は、鬼北町の歴史や文化と深い関わりがある「おに」について学ぶ「鬼北・「おに」の講座」を全5回開催しました。今回は、滋賀県明王院信徒総代・元滋賀県教育委員会の葛野常満氏にお話をいただいた第3回「鬼の子孫、常喜(浄鬼)・常満(浄満)のなし」の内容を少しご紹介します。

舞台となる葛川明王院は、滋賀県大津市に所在する天台宗の寺院で、回峰行を行う比叡山延暦寺の僧侶が参籠修行する聖域です。その歴史は比叡山無動寺谷で修行していた相応和尚が、平安時代初期の貞観元年(859)、山奥深い「三の滝」で不動明王を感じ得し、天台修験の道場として定めたことに始まります。このとき「三の滝」まで案内したのが2匹の鬼「浄鬼」と「浄満」といわれており、明王院参道入口に向かい合って居を構えるその子孫「常鬼」・「常満」は、代々名を襲名し、現在に至るまで1160年間、夏季のこもり修行である夏安居「葛川参籠」の回峰行者の道案内を続けています。

また、節分では「福は内、鬼も内」と唱えると言い、第1回講座でもふれられた祖先の霊であり、山の神でもあるとされてきた日本古来の「おに」を色濃く残しているようです。



▲道案内をする常喜・常満